

No. 6-6

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 6

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与		1		作成日		27年 4月 22日		
事務事業名		資源ごみ収集事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	環境資源課		係名	資源循環推進室
		4-1 環境と共生するまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-1-1 循環型社会の形成						予算費目	会計		一般	
		① ごみ収集・処理体制の充実							款		4	
主要施策							項		2			
							目		1			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
一般家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。 また、平成26年8月から廃食油を業者に引き渡している。 26年度資源ごみ収集量（町収集） 缶 51t、びん 143t、ペットボトル 45t 紙・布 56t プラスチック 253t												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		資源の有効な利用の促進に関する法律										
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		23,590			25,832			23,457				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		4,529			6,168			4,471			
	一般財源		17,741			18,344			17,534			
直接事業費（千円）A		22,270			24,512			22,005				
人件費（千円）B		1,320			1,320			1,452				
内訳	一般職員（人・千円）		0.20 人 1,320		0.20 人 1,320		0.22 人 1,452					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	26年度		27年度	28年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	資源ごみ収集量			t	650	548	570				
	②											
③												
	説明	ごみの分別を徹底し、収集量を削減して経費節減を行う。										

事業名	資源ごみ収集事務	シート作成課	環境資源課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	環境資源課	二次評価者	生活福祉部長
-------	-------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	必要性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	資源の有効活用・循環を図るため、資源ごみ回収は必要な事業です。	
	有効性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	再生利用・再利用意識を高めることで、ごみ分別意識が高まるだけでなく、更に一般ごみ分別に関する意識啓発にも有効な事業です。	
	達成度	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	目的達成は順調であり現在のところ事業内容の見直しも特に必要ないと考えます。	
効率性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。		

本事務事業の実施適切性の説明

現在の収集方法は拠点回収で行っており、住民の分別に対する意識は改善されつつあり、資源回収は順調に行われています。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	3	B D	A C
一次評価	今後の方針		休・廃止	見直し	継続	拡大
	今後の改革・改善目標		平成25年度から全ての自治会で収集が実施され、分別に対する意識の向上に努めていきます。			

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	3	B D	A C
二次評価	今後の方針		休・廃止	見直し	継続	拡大
	コメント		笹尾、城山地区完全ステーション方式への移行について検討する必要がある。			

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--